



ALLIANCEBERNSTEIN®

償還運用報告書(全体版)

A B米国不動産好利回り債券ファンド（為替ヘッジなし）
愛称：イーグル・ハウス

追加型投信／内外／債券
第10期(償還日2023年11月15日)

- 受益者のみなさまへ**
毎々、格別のご愛顧にあすかり厚くお礼申し上げます。
さて、「A B米国不動産好利回り債券ファンド（為替ヘッジなし）」は、2023年11月15日をもちまして信託期間を満了し、償還いたしました。ここに、信託期間中の運用経過等についてご報告いたします。これまでのみなさまのご愛顧に対し、厚く御礼申し上げます。
- 当ファンドの仕組み**
当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商 品 分 類	追加型投信／内外／債券	
信 託 期 間	2023年11月15日まで（信託設定日：2018年11月30日）	
運 用 方 針	・ A B F C P I -モーゲージ・インカム・ポートフォリオ クラス S1シェアーズ（為替ヘッジなし）（以下、主要投資対象ファンドといいます。）への投資を通じて、米国の不動産関連債券*等を中心に投資し機動的に資産配分を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。 * 当ファンドにおいて「不動産関連債券」とは、住宅ローン担保証券（RMBS）や商業用不動産担保証券（CMBS）等、一般に不動産担保融資債権（住宅ローン等）を裏づけとして発行された債券のことをいいます。また、資産担保証券（ABS）、債務担保証券（CDO）、金融デリバティブ商品などにも投資します。 ・ 主要投資対象ファンドへの投資割合は、原則として高位を維持します。 ・ 実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。	
主 要 運 用 対 象	A B 米 国 不 動 産 好 利 回 り 債券ファンド（為替ヘッジなし）	ルクセンブルグ籍内建外国投資信託「A B F C P I -モーゲージ・インカム・ポートフォリオ クラス S1シェアーズ（為替ヘッジなし）」を主要投資対象とします。このほか、「アライアンス・バーンスタイン・日本債券インデックス・マザーファンド」の受益証券にも投資を行います。なお、短期有価証券および短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	A B F C P I -モーゲージ・インカム・ポートフォリオ クラス S1シェアーズ（為替ヘッジなし）	米ドル建てのモーゲージ関連証券や資産担保証券等。
	アライアンス・バーンスタイン・日本債券インデックス・マザーファンド	主としてわが国の国債および国内外の主要取引所に上場する債券先物に投資。
組 入 制 限	A B 米 国 不 動 産 好 利 回 り 債券ファンド（為替ヘッジなし）	・ 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・ 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ・ 株式への直接投資は行いません。
	A B F C P I -モーゲージ・インカム・ポートフォリオ クラス S1シェアーズ（為替ヘッジなし）	・ 流動性の低い資産への投資は、純資産総額の10%を超えないものとします。 ・ ファンドの借入総額は、純資産総額の10%を上限とします。
	アライアンス・バーンスタイン・日本債券インデックス・マザーファンド	・ 株式への投資は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・ 外貨建資産への投資は行いません。
分 配 方 針	毎決算時（毎年5月15日および11月15日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ・ 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ・ 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 ・ 留保益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づいて運用を行います。	

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011
東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント
お問合せ先 お客様窓口
電 話 番 号 03-5962-9687
(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)
ホームページアドレス <https://www.alliancebernstein.co.jp>

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	達 配 金 騰 落 中 率				
	円 銭		円	%	%	%	百万円
6 期(2021年11月15日)	10,424		0	5.1	0.1	98.8	14
7 期(2022年 5月16日)	11,379		0	9.2	0.0	98.6	17
8 期(2022年11月15日)	11,993		0	5.4	0.1	95.5	8
9 期(2023年 5月15日)	12,433		0	3.7	0.2	102.5	4
(償還時)	(償還価額)						
10期(2023年11月15日)	14,474.35		—	16.4	—	—	5

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
		騰 落	率			
(期 首)	円 銭		%	%	%	%
2023年 5月15日	12,433		—	0.2	0.2	102.5
5 月末	12,802		3.0	0.2	0.2	94.9
6 月末	13,429		8.0	0.1	0.1	59.9
7 月末	13,358		7.4	0.1	0.2	89.9
8 月末	13,946		12.2	0.1	0.2	96.0
9 月末	14,301		15.0	0.1	0.2	95.9
10月末	14,278		14.8	0.1	0.2	96.7
(償還時)	(償還価額)					
2023年11月15日	14,474.35		16.4	—	—	—

(注) 各騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 月末は、各月の最終営業日です。

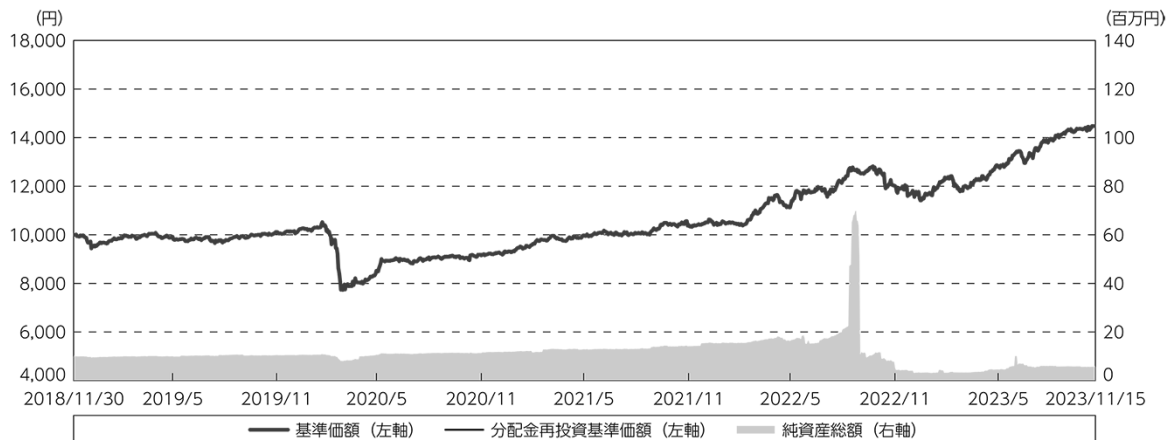
※ベンチマークおよび参考指数について
当ファンドの運用方針と類似した適切な指標が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

設定来の運用経過

AB米国不動産好利回り債券ファンド（為替ヘッジなし）（以下「当ファンド」ということがあります。）の設定来の運用状況をご報告いたします。

設定来の基準価額等の推移

（2018年11月30日～2023年11月15日）



設 定 日：10,000円
 第10期末（償還日）：14,474円35銭（既払分配金（税込み）：－円）
 騰 落 率： 44.7% （分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。

（注）分配金再投資基準価額は、設定日（2018年11月30日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額等の推移

償還価額は14,474円35銭となり、設定日比で上昇しました。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは設定来、ルクセンブルグ籍円建外国投資信託「AB FCP I - モーゲージ・インカム・ポートフォリオ クラス S1 シェアーズ（為替ヘッジなし）」への投資を通じて、住宅ローン等を裏づけとして発行された米国の不動産関連債券を中心に投資を行いました。信託期間中における基準価額の主な変動要因は、次のとおりです。

上昇要因：保有している信用リスク移転証券（クレジット・リスク・トランスファー証券、CRT）や商業用不動産担保証券（CMBS）の価格上昇
 円安米ドル高の進行

投資環境

（2018年11月30日～2023年11月15日）

【債券市場】

設定来の債券市場において、米国国債金利は上昇しました。2020年8月初旬にかけては新型コロナウイルスの感染再拡大や米中関係の一段の悪化を懸念し、金利は低下（価格は上昇）しました。その後は、米連邦準備理事会（FRB）のインフレ抑制を最優先する積極的な利上げを背景に金利は上昇（価格は下落）基調で推移しました。

証券化商品市場は、全体としては、おおむね設定時と同水準で推移しました。

【為替市場】

設定来の米ドル円相場は、円安米ドル高となりました。2021年9月下旬にかけてはレンジ内で推移しました。その後は、FRBによる積極的な利上げを受けて日米金利差が拡大したことから円安米ドル高が進行しました。

運用概況

（2018年11月30日～2023年11月15日）

【当ファンド】

当ファンドは、ルクセンブルグ籍円建外国投資信託「AB FCP I - モーゲージ・インカム・ポートフォリオ クラス S1 シェアーズ（為替ヘッジなし）」を主要投資対象とし、投資割合はおおむね90%以上を維持しました。

また、「アライアンス・バーンスタイン・日本債券インデックス・マザーファンド」にも投資を行いました。

【AB FCP I - モーゲージ・インカム・ポートフォリオ クラス S1 シェアーズ（為替ヘッジなし）】

主として、住宅ローン等を裏づけとして発行された米国の不動産関連債券を中心に投資を行い、機動的に資産配分を行うことで、中長期的な成長を享受することを目指しました。

信託期間を通じて、ファンダメンタルズが良好な信用リスク移転証券（クレジット・リスク・トランスファー証券、CRT）を選好しました。

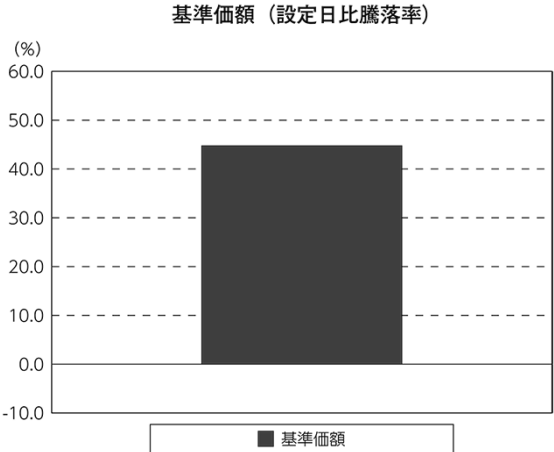
【アライアンス・バーンスタイン・日本債券インデックス・マザーファンド】

主としてわが国の国債および国内外の主要取引所に上場する債券先物に投資することにより、信託財産の成長を図ることを目標とし、日本国債の長期国債先物への投資を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年11月30日～2023年11月15日)

当ファンドはベンチマークおよび参考指数を設けておりません。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

(2018年11月30日～2023年11月15日)

当ファンドは、長期的な信託財産の成長を目指す観点から、信託期間中分配を行いませんでした。

当ファンドは2023年11月15日をもちまして、償還いたしました。長らくのご愛顧に対し、心より厚く御礼申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年 5 月16日～2023年11月15日)

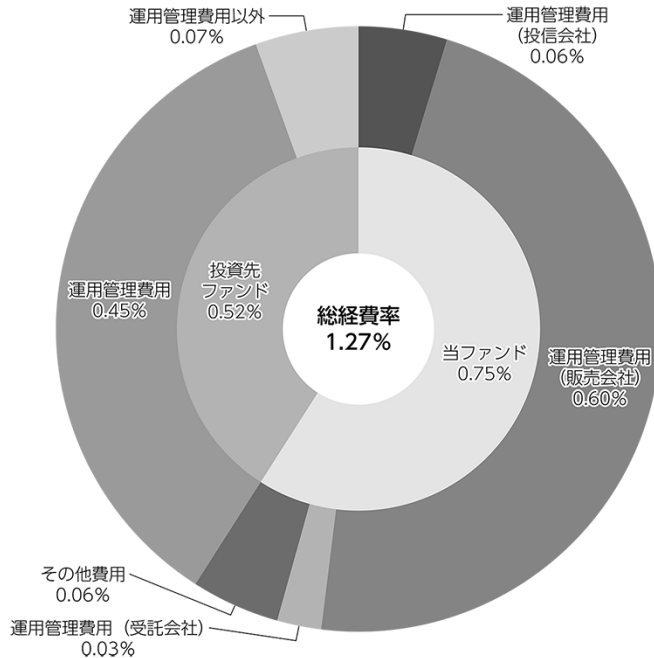
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 47	% 0.346	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(4)	(0.028)	委託した資金の運用、基準価額の算出、法定書類作成等の対価
(販 売 会 社)	(42)	(0.304)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での ファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.000	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	(0)	(0.000)	売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払 う手数料
(c) そ の 他 費 用	4	0.032	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(そ の 他)	(4)	(0.032)	その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	51	0.378	
期中の平均基準価額は、13,685円です。			

- (注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。
- (注) 売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。
- (注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.27%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	1.27
①当ファンドの費用の比率	0.75
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.45
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.07

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注) 各比率は、年率換算した値です。
(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。
(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年5月16日～2023年11月15日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	AB FCP I - モーゲージ・インカム・ポートフォリオ クラス S1シェアーズ (為替ヘッジなし)	口 464 (0.173)	千円 6,460 (-)	口 799	千円 11,672

(注) 金額は受け渡し代金。
(注) ()内は分割、合併、増資等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注) 金額の単位未満は切り捨て。
(注) -印は該当なし。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
アライアンス・バーンスタイン・日本債券インデックス・マザーファンド		千口 -	千円 -	千口 8	千円 9

(注) 単位未満は切り捨て。
(注) -印は該当なし。

○利害関係人との取引状況等

(2023年5月16日～2023年11月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年11月15日現在)

2023年11月15日現在、有価証券等の組入れはございません。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄		期首(前期末)	
		口 数	
AB FCP I - モーゲージ・インカム・ポートフォリオ クラス S1シェアーズ (為替ヘッジなし)			口 334
合 計			334

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
アライアンス・バーンスタイン・日本債券インデックス・マザーファンド			千口 8

(注) 単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年11月15日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円	%
	5,702	100.0
投資信託財産総額	5,702	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2023年11月15日現在)

項	目	償 還 時
		円
(A)	資産	5,702,554
	コール・ローン等	5,702,554
(B)	負債	20,007
	未払信託報酬	19,990
	未払利息	17
(C)	純資産総額(A－B)	5,682,547
	元本	3,925,943
	償還差益金	1,756,604
(D)	受益権総口数	3,925,943口
	1万口当たり償還価額(C／D)	14,474円35銭

(注) 期首元本額3,409,639円、期中追加設定元本額5,995,845円、期中一部解約元本額5,479,541円。当期末現在における1口当たり純資産額1.447435円。

○損益の状況

(2023年5月16日～2023年11月15日)

項	目	当 期
		円
(A)	配当等収益	△ 132
	支払利息	△ 132
(B)	有価証券売買損益	592,592
	売買益	753,625
	売買損	△ 161,033
(C)	信託報酬等	△ 22,000
(D)	当期損益金(A＋B＋C)	570,460
(E)	前期繰越損益金	29,726
(F)	追加信託差損益金	1,156,418
	(配当等相当額)	(683,014)
	(売買損益相当額)	(473,404)
	償還差益金(D＋E＋F)	1,756,604

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬、監査報酬などの諸費用とそれらに対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2018年11月30日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2023年11月15日		資産総額	5,702,554円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	20,007円
				純資産総額	5,682,547円
受益権口数	10,000,000口	3,925,943口	△6,074,057口	受益権口数	3,925,943口
元本額	10,000,000円	3,925,943円	△6,074,057円	1万口当たり償還金	14,474円35銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	10,061,991円	9,927,802円	9,867円	0円	0%
第2期	10,357,097	10,350,889	9,994	0	0
第3期	12,434,621	10,144,690	8,158	0	0
第4期	12,322,821	11,255,827	9,134	0	0
第5期	13,158,127	13,044,355	9,914	0	0
第6期	13,621,171	14,198,873	10,424	0	0
第7期	15,462,937	17,595,211	11,379	0	0
第8期	6,739,093	8,082,305	11,993	0	0
第9期	3,409,639	4,239,035	12,433	0	0

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税込み）	14,474円35銭
----------------	------------